

# 【プログラム#4】 博物館運営の工夫・悩み

10月30日(水) 14:15~15:20

ファシリテーター

相馬 裕介  
スズキ (株)

スピーカー 1

Luca Hoare  
Haynes Motor Museum

スピーカー 2

朝日 嘉徳  
本田技研工業 (株)

## ヘリテージカーの価値の再評価

### スピーカー：Luca Hoare (Haynes Motor Museum)

「実用的に使用されていた物体」であるヘリテージカーの展示に関する意思決定がその意味や保存にどのような影響を与えるかについての問いを提起します。  
車両が実際に使用されていた際、その動きは人々の五感に訴え、その物体の全体的な意味や目的の一部を形成していました。これにより、博物館の展示物としてこの物体ががどのような価値を提供すべきかが問われます。車両は動的保存を続けることでこれらの非物質的な価値を示すべきなのか、あるいは材料の制約を踏まえ、静的保存が採用されるべきなのかということです。  
これを考慮すると、保存の倫理的なガイドラインは、時には訪問者が博物館体験で重視するものとは相反する場合があります。この講演では、ヘリテージカーに関するこのようなジレンマについて考察します。

## 博物館運営の工夫・悩み

### スピーカー：朝日 嘉徳 (本田技研工業 (株))

- Honda Collection Hall (HCH) の歩み
- 現状認識と課題 (2021年現在)
- 来場者の特性
  - ・固定化された来場特性
  - ・創業50周年までの展示
  - ・若者離れ／ファミリー層の敬遠
- HCH の強み／弱み
  - ・現状認識
  - ・体験施設 (体験系アトラクション)
  - ・強みを活かしたミュージアムへ